

1. 開催趣旨

高等教育の改革が進行するなかで、近年とみに産業界や官公庁などの特定分野で、豊富な経験を積んだ専門家をあらたに大学に迎え入れ、実践的な職業教育を実施する「実務家教員」が重要視されています。

また、高等教育無償化の条件のなかにも実務家教員があげられています。このような状況を背景にして、実務家教員の数はずっと増加すると考えられます。実務家教員の増加は、従来の高等教育の担っていた実務教育にも大きな影響を及ぼすことが予想されるようです。

一方、実務家教員には教育経験の不足から、貴重な経験が十分に教育の現場で、活用されないのではないかとこの危惧も指摘されています。

今年度の代表者交流会は、さまざまな対応を求められている大学の実情を理解することを目的に特別企画として開催いたします。わずかな時間ですが、有意義な意見交換をしていただくことを願っております。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

2. 開催内容

- ・日時：9月9日（月）10:30～17:30
- ・会場：東京ガーデンパレス（御茶ノ水）
- ・会費：参加者1名につき 10,000 円（資料・昼食代含む）
- ・定員：50 名
- ・テーマ：『大学教育と実務家教員の役割』

10:30～10:40	開会挨拶：森脇道子（全国大学実務教育協会会長） 森 征一（産学官交流推進特別委員会委員長）
10:40～12:00	◆ 基調講演：『大学と社会との交流から生まれる新たな大学像』 （公・財）大学基準協会特別顧問 納谷 廣美氏（明治大学・元学長）
12:00～13:00	<昼食・休憩>
13:00～14:00	◆ 意見発表『大学教育と実務家教員の役割』 ①トッパン・フォームズ株式会社 代表取締役社長 坂田甲一氏 ②文部科学省高等教育局大学振興課 課長 西田憲史氏 ③京都女子大学 学長 林 忠行氏（発表時間各 20 分）
14:00～14:20	◆ 「大学実務家教員養成講座」の意義 全国大学実務教育協会副会長 能動的学修・大学教育改革の教員研修特別委員会委員長 清水一彦氏
14:20～14:30	<休憩>
14:30～16:00	◆ パネルディスカッション 『大学教育と実務家教員の役割』 ・進行：産学官交流推進特別委員会委員長 森 征一（協会副会長） ・パネラー ①トッパン・フォームズ株式会社 代表取締役社長 坂田甲一氏 ②文部科学省高等教育局大学振興課 課長 西田憲史氏 ③京都女子大学 学長 林 忠行氏 ④常磐大学 准教授 菅田浩一郎氏
16:00～16:15	<休憩>
16:15～17:30	◆ 意見交換会（グループディスカッション）

総合司会：福井洋子（全国大学実務教育協会理事・大手前短期大学学長）